



ふしぎな時計は いかが？



時計づくりのジョニー

エドワード・アーディゾーニ 作 あべ きみこ 訳 こぐま社 Eーア

ジョニーは手先がたいへん器用な小さな男の子です。3さつあるお気に入りの本のなかで、『**大時計**のつくりかた』がいちばん気に入っていました。ある日のこと、ジョニーはとつぜん「**ぼくも大時計**をつくろう」とおもいつきます。ジョニーはうれしくてうれしくてお母さんのところにとんでいきました。

とけいのあおくん

エリザベス・ロバーツ さく 灰島 かり やく 殿内 真帆 え 福音館書店 Eート

とけいやさんのたなにいるあおくんは、ちいさいあおいろのめざましどけいです。あおくんはじぶんのベルのおとがだいすきですが、もうながいことめざましのベルをならしていませんでした。たなにたっているだけなんて、がまんできないとあおくんがおもったとき、おとこのことおかあさんがやってきます。

ゆりの木荘の子どもたち

富安 陽子 作 講談社 913ート

老人ホームゆりの木荘にすんでいるサクラさんが、ときどき聞こえてくる手まり歌を仲良しのモリノさんに歌って聞かせました。すると**古時計**の針が逆回りをはじめ、鐘の音をひとつびかせます。ゆりの木荘は七十七年まえの八月三日にもどり、サクラさんたちも十歳の子どもにもどってしまいます。この**時計**は魔法を動かすためのスイッチだったのです。



ねこどけい

きしだ えりこ さく やまわき ゆりこ え 福音館書店 Eーヤ

ことちゃんのいえには、はとどけいとねこのねねこがいます。ことちゃんは、はとどけいのはとが「くくう」となくと、ごはんをたべたりでかけたりします。ねねこは、とけいからはとがでてきたので、まえあしではとのあたまをひとつたたきました。はとは「くくう！」とないてひっこんでしまいました。

トムは真夜中の庭で

フィリパ・ピアス 作 高杉 一郎 訳 岩波書店 933ーピ

トムは、^{なつやす}夏休みをアランおじさんの^{いえ}家ですごすことになりました。おじさんの家は、^{いつけん}一軒の大きな^{おお}邸宅^{ていたく}だったところを^{せ たか}アパートにしたもので^{おおどけい}ホールには背の高い大時計があります。^{よる}夜、その^{おおどけい}大時計が、^{じゅうさんじ}十三時をうちました。トムが^{おおどけい}大時計のある^{した}階下のホールへおり、^{うらぐち}裏口からそとに出ると、^{はな さ}花が咲きみだれた^{ていえん}庭園がありました。

メアリー・スミス

アンドレア・ユーレン 作 千葉 茂樹 訳 光村教育図書 Eーユ

^{げつようび あさ}月曜日の朝、よあけがまだまださきなのに、メアリー・スミスは^{まち}町はずれの^{いえ}家からでかけました。そして、ポケットからしわしわの^{まめ}豆をとりだし、チューブにこめるとプツとひとふきします。すると^{まめ}豆はパン^や屋のまどにあたり、へやのあかりがともりました。メアリー・スミスは^{まち}町の^{めざまし}めざまし^や屋なのです。

王さまたんけんたい

寺村 輝夫 著 理論社 913ーテ

王さまは、あさおきてから一日^{いちにち}じゅう、^{とけい}とけいにおいまわされています。研究所^{けんきゅうじょ}のはかせに「^{とけい}とけいは、なぜまわるか」ときいても、せつめいがむずかしくてわかりません。そこで王^{おう}さまは、すきなとき、すきなようにまわる^{とけい}とけいをはかせにつくってもらいました。王^{おう}さまの^{とけい}とけいがすきなようにまわると、おしろじゅうの^{とけい}とけいもみんなまねをします。

(『とけいがぐるぐる』)

